

※圃場条件等により基肥・農薬等が異なる場合は、別々に記入願います。

みやぎ登米 特別栽培米 栽培履歴記録書 JAS有機栽培米 03

【前期】様式番号 41

年	集落名	住所	出荷契約者名	電話番号
2017		登米市		
区別No.	品種No.	品種名	作付面積	出荷契約数量
0301	430	ひとめぼれ	86	50
購入種子(kg)	自家採種(kg)	購入苗(箱)	播種日	田植日
	30		4月23日	5月24日
10aの使用苗箱数 23箱				

※購入苗・譲受の場合は、育苗生産履歴書が必要になります。記入用紙を営農経済センターでお求めになりますようお願い致します。

育苗用培土 (該当する培土に○を記入して下さい。尚、購入培土で肥料入りの場合は商品名を記入して下さい。)

水田	山土	購入培土(無肥料)	購入培土(肥料入り)	商品名
		○		

《土壤改良資材等の使用》 ※10a当りの使用量について記入して下さい。 《種子消毒作業》

資材No.	資材名	使用時期	使用量	資材No.	農薬名(温湯消毒・他)	購入種子が温湯消毒の場合は月日不要
99	購入種子	3月31日			温湯消毒を個人の場合は月日を記入	

《堆肥使用》 該当する項目の右の枠に○を記入して下さい。 堆肥を使用した月と使用量を記入して下さい。

堆肥	有機センター	牛堆肥	豚堆肥	その他	未使用	使用時期	4月	使用量	1,000 kg/10a
----	--------	-----	-----	-----	-----	------	----	-----	--------------

《肥料等の使用》 ※10a当りの使用量について記入して下さい。(育苗肥料は箱単位)

使用目的	未使用は○を記入	資材No.	資材名	使用月日	使用量
育苗肥料		31	育苗専用肥料10-10-10	月 日	20 g/箱
		32	ロング入育苗肥料	月 日	60 g/箱
		54	有機アグレット 666	4月22日	50 cc/箱
基肥		54	有機アグレット 666	4月26日	50 kg/10a

《農薬の使用》 ※10a当りの使用量について記入して下さい。(苗立枯病・箱処理剤は箱単位)

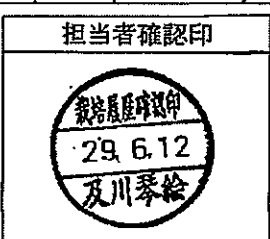
苗立枯病	9	月 日	g/箱
病害虫防除(箱処理剤)	○	月 日	cc/箱
除草剤	○	月 日	cc/10a

(*)作業委託されている方は、委託先を下記に記入して下さい。

集落名 _____ (代表)氏名 _____

上記の方に委託されている作業を全て○で囲んでください。

全作業委託・育苗・耕起・田植



※生産履歴に関するお問い合わせは、最寄の営農経済センターへご連絡ください。

※圃場条件等により基肥・農薬等が異なる場合は、別々に記入願います。

みやぎ登米 特別栽培米 栽培履歴記録書 【後期】 JAS有機栽培米 03 様式番号 51

集落名	出荷契約者名	JA担当者確認印	JA最終検証印	
		29.9.07 三浦琴絵	29.9.7 遠藤伸悦	
年	区別No.	品種No.	品種名	栽培タイプ
2017	0301	0430	ひとめぼれ	JAS有機

※特別栽培米の面積が、当初【前期】の取組面積と変更になる場合には、右に面積と、出荷数量(予定)を記入願います。但し、取組面積に変更が無ければ作付面積・出荷数量の記入は必要ありません。

作付面積(a)	出荷数量
a	俵

《出穂》 《収穫》

出穂期	8月10日
収穫予定日	10月1日

※出穂期については、該当圃場の出穂が40~50%程度出穂した月日を記載してください。

《肥料の使用状況》 ※10a当りの使用量について記入して下さい。

使用目的	未使用は○を記入	資材No.	資材名	使用月日	使用量
追肥		54	有機アグレット 666	7月1日	3 kg/10a

《農薬等の使用状況》 ※10a当りの使用量について記入して下さい。

使用目的	未使用は○を記入	資材No.	資材名	使用月日	使用量
いもち病	○			月 日	kg/10a
紋枯病(混合剤含)	○			月 日	kg/10a
稻こうじ病(混合剤含)	○			月 日	kg/10a

カメムシ類防除

263	共同防除 キラップ剤	JAに委託の場合は○を記入
206	キラップ粉剤DL	月 日
265	キラップ粒剤	月 日

《収穫・出荷方法》 該当する項目の右の枠に○を記入して下さい。(複数の枠に○を記入できます。)

収穫	コンバイン	○	バインダー	
乾燥調製	火力乾燥調製	○	自然乾燥	
出荷	カントリーエレベーター		JA倉庫	○

自然乾燥の乾燥期間 _____ 日間

※生産履歴に関するお問い合わせは、最寄の営農経済センターへご連絡ください。